



令和 5 年 3 月 3 0 日

深川市議会議長 鶴 岡 恵 司 様

会 派 名 公政クラブ
 代表者名 小 田 雅 一



政務活動費収支報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第 1 1 条第 1 項 (第 2 項) の規定により、下記のとおり令和 4 年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

1 収入
 政務活動費 4 3 6 , 8 1 8 円

2 支出

(単位 : 円)

科目	金額	備考
調査研究費	3 5 4 , 6 1 0 円	・ホクレン福岡支店「九州における道産米の販売状況について」(福岡県福岡市) R4.10.12 ・第 84 回全国都市問題会議 (長崎県長崎市) R4.10.13~R4.10.14
研修費		
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費	1 9 , 1 2 0 円	要請活動 ・空知総合振興局札幌建設管理部深川出張所 R4.11.9 ・空知総合振興局札幌建設管理部、北海道議会 R4.11.15
会議費		
資料作成費		
資料購入費	6 3 , 0 8 8 円	地方公共団体のための補助金活用ガイド
人件費		
事務所費		
合計	4 3 6 , 8 1 8 円	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 差額 0 円



令和5年3月30日

深川市議会議長 鶴岡 恵 司 様

会 派 名 公政クラブ

代表者名 小 田 雅 一



政務活動費実績報告書

深川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、下記のとおり報告します。

記

使 途	■調査研究費	□研修費	□広報費	□広聴費	■要請・陳情活動費
	□会議費	□資料作成費	■資料購入費	□人件費	□事務所費
実施期間	① 調査活動 10月12日～14日(調査研究費) ② 要請活動 11月 9日・15日(要請・陳情活動費) ③ 資料購入 9月27日、3月7日(資料購入費)				
実施場所	① ホクレン福岡支所、出島メッセ長崎 ② 空知総合振興局札幌建設管理部及び同部深川出張所、北海道議会(北海道庁) ③ 「地方公共団体のための補助金活用ガイド」内容更新				
参加者名	小田雅一、近沢弘幸、北村 薫、鶴岡恵司				
実績額	436,818円(うち交付請求額 436,818円)				
内 容	① 調査活動～別紙のとおり ② 要請活動～別紙のとおり ③ 会派書籍(控室書架)「地方公共団体のための補助金活用ガイド」定期更新				

令和4年度「公政クラブ」政務活動報告書

期 日：令和4年10月12日～14日

視察研修地：1. 福岡県福岡市 ホクレン福岡支店

「九州における道産米の販売状況について」

2. 長崎県長崎市 出島メッセ長崎

第84回 全国都市問題会議

個性を生かして『選ばれる』まちづくりは

～何度も訪れたい場所になるために～

参加者：小田雅一、近沢弘幸、北村薫

調査内容

10月12日(水) 福岡県 ホクレン福岡支店 「九州における道産米の販売状況について」
(調査目的)

米の需要が毎年10万ずつ減少している中で、気候変動等により米耕作適地が北上している中で、道産米の現在の評価と販売実績、今後の九州での販売拡大の可能性とどの様に推移していくのか調査しました。

(説明員)

福岡支店 支店長 高橋 克典氏
米麦農産課 調査役 齋藤 稔氏

九州における(沖縄を含む)米の情勢は主食用収穫量725,820tで、年間米消費量738,633tで九州での自県産賄い率は98.3%で北海道米は、沖縄では10.6%が消費されているが九州全体では、1.4%しか販売されておりません。

J Aきたそらちの九州での取扱い、及び販売状況について説明を受けました。

3年産米の福岡支店での道産米の取扱量は主食用米で、10,488tで、J Aきたそらち 20tで、ごくわずかで残念な結果でした。

地産地消を基本に、特に米はほとんどが九州で作付された品種が流通されており、北海道米はまだ後発でありわずかの取扱量で、浸透するには地道な販売戦略を持って進める必要があると説明がありました。

(調査を振り返って)

積極的な営業活動と、長期的な販売戦略と、安全安心をアピールし、販路拡大を進めることが重要であると感じました。



調査内容

10月13日(木)～14日(金) 長崎県 第84回 全国都市問題会議

テーマ 個性を生かして「選ばれる」まちづくり

～何度も訪れたい場所になるために～

第1日

開会式

開会挨拶	全国市長会会長	福島県相馬市長	立谷 秀清
開催市市長挨拶		長崎県長崎市長	田上 富久
来賓祝辞		長崎県知事	大石 賢吾

基調講演 民間主導の地域創生の重要性

高田 旭人氏(株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役兼 CEO)

主報告 長崎市の魅力あるまちづくり

田上 富久氏(長崎県長崎市長)

一般報告 地域との新しい関わり方・関係人口

田中 輝美氏(島根県立大学地域政策学部准教授)

ビジョンを活かしたまちづくり

～「選ばれる山形市」を目指して～

佐藤 孝弘氏(山形県山形市長)

「交流の産業化」を支える景観まちづくり

～長崎市景観専門監の取り組み～

高尾 忠志氏(一社 地域力創造デザインセンター代表理事)

基調講演

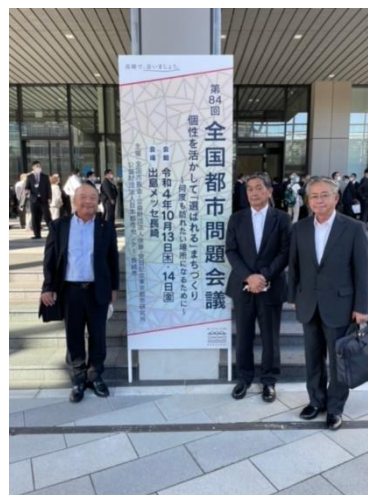
「民間主導の地域創生の重要性」と題し

株式会社 ジャパネットホールディングス

代表取締役社長 兼CEO 高田 旭人氏

講演内容

2代目社長が先代から「見つける」「磨く」「伝える」を受け継ぎ、通信販売を行い2017年より長崎のプロサッカークラブ「V・フォーレ長崎」の運営を始めたことにより、地域を盛り上げたいとの想いが強くなり、そのために人口を増やし、経済を活性化し、地域資源を



活用して地域の魅力を広く伝え、民間企業も行政も目指すゴールは同じだと思うが、そこへ行きつくための手段や役割は大きく異なると、行政は公平性と意思決定・執行に時間を要するが、民間は良いと思ったものには自らリスクを取り、最短の意思決定で取り組んでいけるのが、最大の強みであるが民間企業だけでは出来ないことも数多くあり、たとえば交通網対策等は行政の仕事であり「地域を活性化させる」という同じゴールを目指し、一緒に理想の地域創生を実現したい、行政だからできること、民間だからできること、今こそ官民そしてそこに住む地域住民の方々と連携し手を取り合いながら、長崎をはじめ地域全体の幸福の総量を増やしていきたいと熱く語られておりました。

誰かがやる、やってくれるのではなく、立場の違いを超えてわがまちをどうするのか、どうすることが地域の発展とポテンシャルの高い北海道の発展と人口増加に結びつくのか。長崎の事例が本市にそのまま取り入れることは、難しいですが、考え方・手法は、大切なものであるので、市民を巻き込んだ議論を活発に行い関心が高まることが重要だと思います。

小さいまちだからこそできること、今後の10年、20年その先を見据えたわがまちの姿を行政・民間・住民が一体となることの必要性を学びました。

第2日

パネルディスカッション

【テーマ】

個性を活かして「選ばれる」まちづくり

～何度も訪れたい場所になるために～

【コーディネーター】

東京都立大学法学部教授 大杉 寛氏

【パネリスト】

ゆとり研究所所長 野口 智子氏

山梨大学生命環境学部教授 田中 敦氏

NPO 法人長崎コンプラドール理事長 桐野 耕一氏

岐阜県飛騨市長 都竹 淳也氏

兵庫県伊丹市長 藤原 保幸氏

閉会式

次期開催市市長挨拶 青森県八戸市長 熊谷 雄一氏

閉会挨拶 公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所理事長

小早川光郎氏

北海道庁の来年度（令和5年）予算編成にあたり、深川市行政に係る予算要望を行う

日 時 11月9日（水）

場 所 空知総合振興局札幌建設管理部 深川出張所

参加者 小田雅一 近沢弘幸 北村薫

都市建設課 藤井課長 齋藤課長補佐

対応者 滝川出張所 出張所長 土田秀一

深川出張所 所長 紺屋昌義

次長 中島雄一

主査（治水維持） 大橋優二

日 時 11月15日（火） 午前11時～11時45分

場 所 空知総合振興局札幌建設管理部（札幌市中央区南11条西16丁目2-1）

参加者 小田雅一 近沢弘幸 北村薫 鶴岡恵司

企画財政課 八柳主幹（随行）

対応者 金澤副局長 佐竹建設管理部長 工藤用地管理室長 鈴木事業室長

立川治水課長 工藤道路課長 大畑調整課長

場 所 北海道議会 6F 第3委員会室

参加者 小田雅一 近沢弘幸 北村薫 鶴岡恵司

白川祥二北海道議会議員

企画財政課 八柳主幹（随行）

要請内容（別紙1の通り）

来年度予算編成にあたり20項目（農政部6本、建設部8本、健康福祉部3本、
教育庁2本、総合政策部1本）の要請を行い、あわせて懇談を行った

日 程 13時30分～14時30分 農政部

14時30分～15時20分 建設部

15時30分～16時00分 保健福祉部

16時00分～16時20分 教育庁

16時20分～16時30分 総合政策部

対応者 （別紙2）



別紙1 令和4年度 北海道への要望

NO	要望先	要 望 内 容		市担当課	備 考
1	建設部・札幌建設管理部	1 一般道道深川多度志線 2次改築事業の促進	継続	都市建設課	
2		2 一般道道湯内内園線 歩道設置事業の促進	継続	都市建設課	
3		3 主要道道旭川深川線 2次改築事業の促進	継続	都市建設課	
4		4 砂防事業の促進 (オキリカップ支流川)	継続	都市建設課	
5		5 主要道道増毛稲田線 妹背牛橋の掛替	継続	都市建設課	
6		6 河川改修事業の促進 (入志別川)	継続	都市建設課	
7		7 河川改修事業の促進 (クッカリシナイ川)	継続	都市建設課	
8		8 主要道道深川雨竜線 無電柱化とバリアフリーの実施	継続	都市建設課	
9	農政部	1 農業農村整備事業に係る予算の確保について	継続	農政課	
10		2 自由貿易協定等の対応について	継続	農政課	
11		3 主食用米の需給対策について	継続	農政課	
12		4 スマート農業の推進について	新規	農政課	
13		5 水田活用の直接支払交付金について	新規	農政課	
14		6 資材高騰対策について	新規	農政課	
15	健康	1 地域医療の確保と自治体病院の経営強化支援	継続	病院管理課	R 4 表題一部変更
16	福祉部	2 救急医療の維持・確保	継続	健康・子ども課	
17		3 子育ての経済的負担軽減への支援	継続	市民課	
18	総合政策部	1 地方創生推進交付金等の財源確保について	継続	企画財政課	
19	北海道教育委員会	1 学力向上施策について	継続	学務課	
20		2 道立高校の配置について	継続	学務課	

別紙1 令和4年度 北海道への要望

NO	要望先	要 望 内 容		市担当課	備 考
1	建設部 札幌建設管理部	1 一般道道深川多度志線 2次改築事業の促進	継続	都市建設課	
2		2 一般道道湯内内園線 歩道設置事業の促進	継続	都市建設課	
3		3 主要道道旭川深川線 2次改築事業の促進	継続	都市建設課	
4		4 砂防事業の促進 (オキリカップ支流川)	継続	都市建設課	
5		5 主要道道増毛稲田線 妹背牛橋の掛替	継続	都市建設課	
6		6 河川改修事業の促進 (入志別川)	継続	都市建設課	
7		7 河川改修事業の促進 (クッカリシナイ川)	継続	都市建設課	
8		8 主要道道深川雨竜線 無電柱化とバリアフリーの実施	継続	都市建設課	
9	農政部	1 農業農村整備事業に係る予算の確保について	継続	農政課	
10		2 自由貿易協定等の対応について	継続	農政課	
11		3 主食用米の需給対策について	継続	農政課	
12		4 スマート農業の推進について	新規	農政課	
13		5 水田活用の直接支払交付金について	新規	農政課	
14		6 資材高騰対策について	新規	農政課	
15	健康	1 地域医療の確保と自治体病院の経営強化支援	継続	病院管理課	R4表題一部変更
16	福祉	2 救急医療の維持・確保	継続	健康・子ども課	
17	部	3 子育ての経済的負担軽減への支援	継続	市民課	
18	総合政策部	1 地方創生推進交付金等の財源確保について	継続	企画財政課	
19	北海道	1 学力向上施策について	継続	学務課	
20	教育委員会	2 道立高校の配置について	継続	学務課	

深川市議会公政クラブの北海道に対する要請出席者

〔 日時：令和4年11月15日（火）13:30～16:30 〕
 〔 場所：道議会庁舎 6階 第3委員会室 〕

【農政部】

所 属	職 名	氏 名
農政部	次長	すず ぎ けん いち 鈴 木 賢 一
農政部農政課	主幹	よね やま ともみ 米 山 ともみ
農政部農政課	課長補佐	ます だ はる み己 増 田 治 己
農政部農政課	主査	しの だ とも ひろ啓 篠 田 友 啓
農政部生産振興局農産振興課	水田担当課長	さ さ き ひで や 佐々木 秀 弥
農政部生産振興局農産振興課	園芸担当課長	かじ た ま みこ 藤 田 眞美子
農政部生産振興局畜産振興課	環境飼料担当課長	えん どう たかし 遠 藤 隆
農政部生産振興局畜産振興課	課長補佐	さい どう ひろ あき 齋 藤 博 章
農政部生産振興局技術普及課	技術普及課長	すず ぎ あき よ代 鈴 木 章 代
農政部生産振興局技術普及課	課長補佐	もり た ろう 森 太 郎
農政部生産振興局技術普及課	主幹	まえ の ひろ ゆき 前 野 宏 之
農政部農村振興局農村設計課	農村設計課長	いそ じま みつ よ世 磯 嶋 光 世

【建設部】

所 属	職 名	氏 名
建設部	土木局長	おし たに のり ひろ 折 谷 徳 弘
建設部土木局道路課	課長	いずみ とも お夫 泉 智 夫
建設部土木局道路課	高速道・市町村道担当課長	しお だ まさ し史 塩 田 雅 史
建設部土木局河川砂防課	課長	まつ だ てつ お夫 松 田 哲 夫
建設部土木局河川砂防課	課長補佐	まつ だ ひろ おみ文 松 田 博 文

【保健福祉部】

所 属	職 名	氏 名
保健福祉部	次長	福 原 靖 博
保健福祉部地域医療推進局地域医療課	地域医療課長	山 谷 智 彦
保健福祉部地域医療推進局地域医療課	医師確保担当課長	金 須 孝 夫
保健福祉部地域医療推進局地域医療課	医療参事	大 原 幸
保健福祉部感染症対策局感染症対策課	医療体制担当課長	植 村 直 樹
保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課	子ども子育て支援課長	菊 谷 克 己

【教育庁】

所 属	職 名	氏 名
教育庁学校教育局高校教育課	道立配置・制度担当課長	岡 内 誠
教育庁学校教育局高校教育課	課長補佐	小 倉 賢 治
教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課	課長	高 橋 宏 明
教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課	課長補佐	後 藤 貴 志
教育庁総務政策局教育政策課	課長補佐	伊 勢 幸 人
教育局総務課	課長補佐	田 中 猛 之

【総合政策部】

所 属	職 名	氏 名
総合政策部	次長	薬 袋 浩 之
総合政策部地域総政局地域戦略課	地域創生担当課長	越 田 習 司